

## 図工・美術教員のみなさまへ

当美術館では、学校団体、学校内小グループでの見学をお手伝いします。また、美術鑑賞の楽しみ方などご相談に応じます。美術館体験の入口としてご利用いただけますと幸いです。

たましん歴史・美術館 企画展

# おばけ美術館

おばけと聞き、あなたはどんなことを思い浮かべますか。

「ちょっと、こわいな」「おばけに会ったら、びっくりしそう！」

「おどかすのがすきそう」と連想するかもしれません。

おばけは人々の暮らしの中で、何か説明できない自然現象への恐れや不安感によって造形化されてきました。また、遊園地などにあるおばけ屋敷で、人はおばけに驚いたり怖がったりすることを娯楽として楽しんでいます。

本展では、彫刻や絵画、工芸などいろいろな作品から、作品のどこに怖いという気持ちを感じるか、作品のどんなところがおばけのように見えるか、作品からおばけを想像し、おばけの名前や性格、特技を考えるなどさまざまに「おばけ」に注目しながら作品に親しみます。

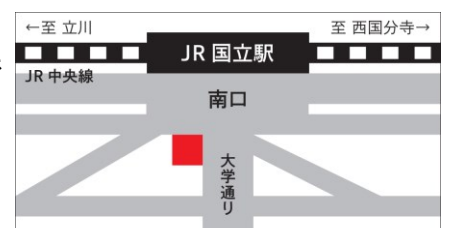
「何で怖いのかな?」「こんなおばけを想像する」とワクワクドキドキゾクゾクしながら、本展をお楽しみください。

たのしく鑑賞するために

1. 作品にはさわらない…作品を大切にしよう!
2. ゆっくり歩いて、じっくりみよう。
3. 作品をよくみて、思ったことや感じたことを話してみよう。…話すときは、小さな声で。(他のお客さまもいるよ!)

### ■開催概要

1. 展覧会名 「おばけ美術館」
2. 会期:2018年7月17日(火)～9月9日(日)
3. 休館日:月曜日・祝日(8月11日)
4. 会場:たましん歴史・美術館(多摩信用金庫国立支店6F/JR 国立駅南口前)
5. 開館時間:午前10時から午後6時 \*入館は午後5時30分まで
6. 入館料:一般 100円 \*中学生以下無料



## ■みどころ:

### ①おばけを切り口に、絵画や彫刻、工芸など約 30 作品に親しむことができます！

作品をじっくりみてもらえるよう、「1. おばけって何だろう?」「2. おばけをみつけてみよう!」「3. おばけをそうぞうしてみよう!」と3つのステップで作品を楽しみます。  
各作品にはおばけに関する「問いかけ」があります。「問いかけ」にはルビ表記を行います。

### ②活躍、活動している多摩地域の作家のさまざまな作品を鑑賞できます！

八王子市在住の画家・玉虫良次、羽村市在住の画家・原田丕、  
国分寺市在住の画家・福井昭雄、東村山市在住の画家・青木園、  
奥多摩町在住の画家・海野次郎の作品を展示します。

### ③東洋古陶磁や近代洋画の名品を鑑賞できます！

「豆彩花蝶文盤（とうさいかちょうもんばん）」「染付吹墨雪景人物文皿（そめつけふきずみせつけいじんぶつもんさら）」などの17世紀、18世紀の中国・朝鮮・日本の古陶磁や  
辻清明（1927-2008）の工芸品、写実描写で知られる河野通勢（1895-1950）、  
シャガールに学んだ川口軌外（1892-1966）の近代洋画の名品を展示します。

### ④美術館体験の入口としてご利用ください！

学校団体、学校内小グループでの見学をお手伝いします。  
美術鑑賞の楽しみ方などご相談に応じます。

## ■関連イベント:

□ギャラリートーク 担当学芸員と展覧会を楽しむ

日 時： ①7月21日(土) 未就学児対象  
②7月28日(土) 小学1～3年生対象  
③8月 4日(土) 小学4～6年生対象  
④8月25日(土) 中学生以上対象 \*いずれも午後2時～

会 場： たましん歴史・美術館 展示室内

参加費： 無料 ※入館料のみお支払いください。 \*中学生以下無料

★上記以外でもギャラリートークの対応をします。ご希望の学校は下記までお問い合わせください★

お問合せ先： 公益財団法人たましん地域文化財団 美術資料室 担当学芸員：杉本 藍  
(火～金 午前10時～午後5時)

電話：042-574-1360 / FAX:042-577-5070 / URL: <http://www.tamashin.or.jp>